

# 60期生 授業評価 (集計期間:令和4年4月～令和5年12月迄)

## 1. 1年次の授業科目と授業評価項目

1年次 授業実施科目		授業評価項目	
基礎	人間と生活・社会	1	講義の要点がわかりやすい展開であった
	論理的思考の基盤	2	講義のテーマ・目的がわかりやすい展開であった
専門基礎分野	人体の仕組みと働き	3	講義の結論が明確な展開であった
	栄養	4	事例や経験談は、多すぎること少なさすぎることなかった
	薬理	5	学生の反応を捉えて授業していた
	疾病の成り立ち	6	発問はわかりやすかった
	保険医療福祉のしくみ 看護と法律	7	指示や説明はわかりやすかった
専門分野	看護概論	8	抽象的な内容も具体的な理解につながった
	基礎看護技術	9	学習内容の難易度は丁度良かった
	臨床看護概論	10	新鮮さを感じる講義であった
	成人看護	11	難しすぎること易しすぎることない授業展開であった
	老年看護	12	専門用語やなじみのない用語に対し、わかりやすい説明があった
	母子看護	13	講義の進み方は速すぎること遅すぎることなかった
	精神看護	14	資料やパワーポイントなどの教材の量は適切であった
		15	教材は理解を深めるのに分かりやすいものだった
		16	教材を学生に提示している時間は適切であった
		17	教員の声は明瞭で聞き取りやすかった
		18	授業に参加できた

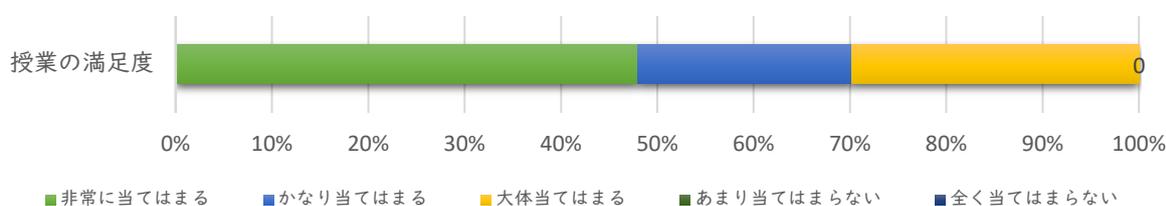
## 2. 各科目の授業評価 集計結果

論理的思考の基盤	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	4	3	4	0	0

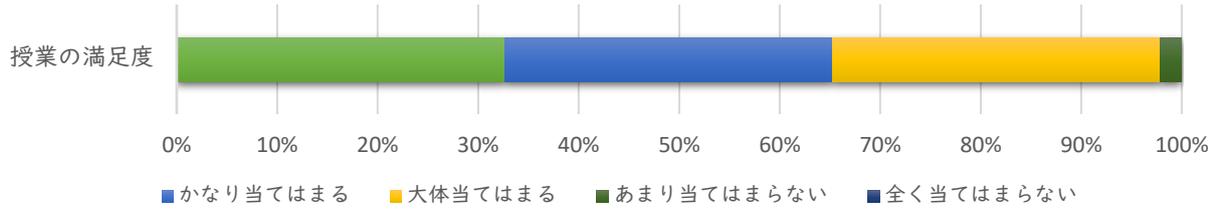


基礎分野

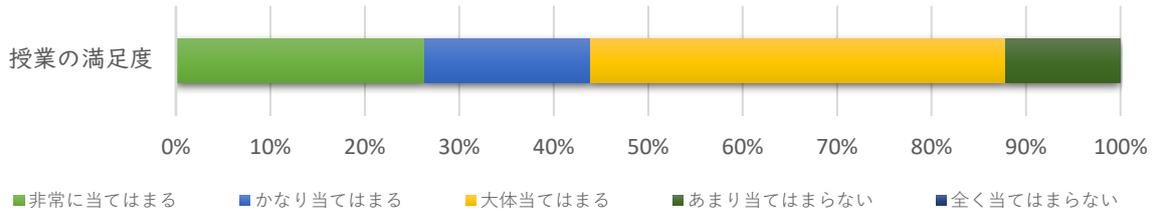
人間と生活・社会	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	5	2	3	0	0



人体のしくみと働き	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	4	4	4	0	0



栄養	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	3	2	5	1	0



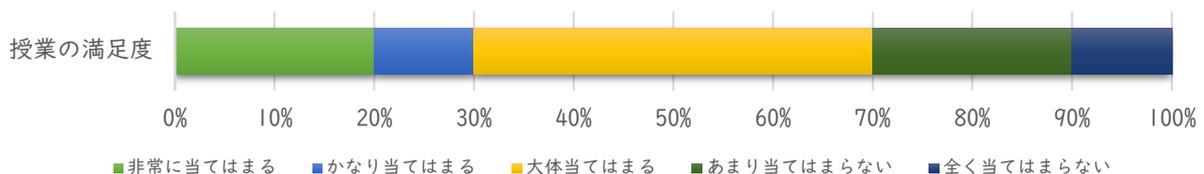
薬理	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	3	3	4	1	0



疾病の成り立ち	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	2	2	5	2	1



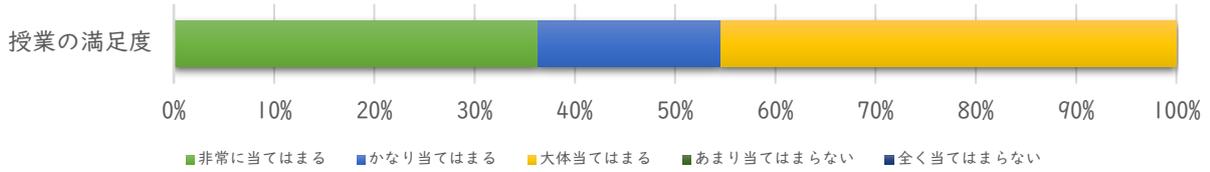
保健医療・法律	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	2	1	4	2	1



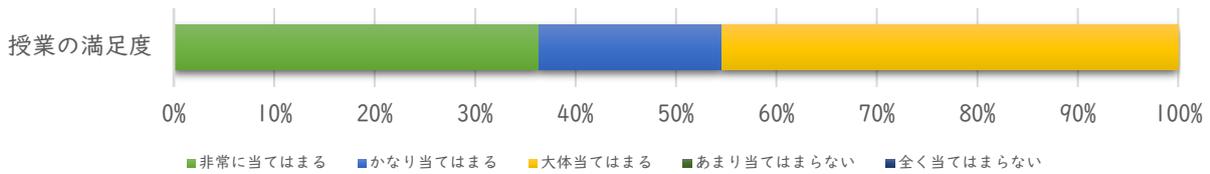
基礎看護技術	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	4	3	3	0	0



看護概論	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	4	2	5	0	0



臨床看護概論	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	4	2	5	0	0



成人看護	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	3	3	4	0	0



老年看護	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	4	2	5	0	0



母子看護	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	4	2	4	0	0



授業の評価項目は1～18まであるが、18の項目の平均を「授業満足度」として評価を行った。科目による差はあるが「非常に当てはまる」から「大体当てはまる」の好意的評価が80～100%であった。それに対して「当てはまらない」などの評価が30%ほどある科目も見られた。満足度の低い科目については、終講試験の成績も他科目と比べると低い傾向にあった。学生にとって満足度の低い科目の多くが専門基礎分野(栄養、保健医療、疾病の成り立ちなど)である。専門基礎分野は入学後すぐに開講するものがほとんどで、看護の初学者にとって難しいと感じるものが多かったのではないかと考える。

専門分野ではすべての科目が「非常に当てはまる～大体当てはまる」と好意的評価であり、専門基礎分野を土台にして、理解が深まったのではないかと考える。開講時期による満足度の差については、今後初学者でも理解しやすい教材や学習方法の工夫など行って行きたい。

そして専門基礎分野の一部(栄養、保健医療、疾病の成り立ち)については、次年度入学生(61期生)から講師変更となっているため、また改めて来年度評価していきたい。